

承認番号	13513KUZ07814001
保険適用	1955年1月
販売開始	1955年1月
再評価結果	1982年8月

口腔粘膜・根管消毒剤

* 劇薬

ネオグリセロール

NEOGLYCEROL

貯 法：光を避けて室温で保管すること。
** 使用期限：外箱及びラベルに表示の
使用期限内に使用すること。

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

【併用禁忌】(併用しないこと)

水銀剤(「相互作用」の項参照)

【組成・性状】

1. 組成

100 mL 中に次の成分を含有する。

(有効成分)	ヨウ素	10 g
	硫酸亜鉛水和物	1 g
	ヨウ化ナトリウム	8 g
	グリセリン	40 mL

2. 製剤の性状

暗赤褐色の粘りのある液で、ヨウ素のにおいがある。

【効能・効果】

口腔粘膜(歯肉)及び根管の消毒

【用法・用量】

適量を綿球又は綿繊維につけ、局所に貼付する。

【使用上の注意】

1. 相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	機序・危険因子
水銀剤	毒性のあるヨウ化水銀が発生するおそれがある。

2. 副作用

過敏症(頻度不明)

発疹、口腔粘膜びらん等の過敏症状が現れることがあるので、このような場合には、使用を中止し、適切な処置を行うこと。

3. 適用上の注意

- (1) 本剤が手指、衣服等に付着した場合には、チオ硫酸ナトリウム溶液(ハイポ)等で脱色し、十分に水洗すること。
万一眼に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。
- (2) 歯科用にのみ使用すること。

4. その他の注意

急性毒性(ヨウ素)¹⁾

ヒト 経口 LD₅₀ = 2000 mg/kg

【薬効薬理】²⁾

ヨウ素には、その酸化作用により細胞機能を阻害して、強力で速やかな殺菌作用があり、石炭酸係数は溶媒と菌の種類により異なるが、180～237である。その作用は塩素に比べやや劣るが、グラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、ウイルス、かび類に有効である。本剤は、ヨウ素の持つこの殺菌作用の他に、硫酸亜鉛の収れん作用、グリセリンの局所刺激緩和作用を併せ持っている。

【有効成分に関する理化学的知見】²⁾

1. 一般名：ヨウ素 (Iodine)

化学名：Iodine

分子式：I (分子量：126.90)

性状：本品は灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なにおいがある。本品はジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。本品はヨウ化カリウム試液に溶ける。本品は常温で揮散する。

2. 一般名：硫酸亜鉛水和物 (Zinc Sulfate Hydrate)

化学名：Zinc sulfate heptahydrate

** 分子式：ZnSO₄・7H₂O (分子量：287.55)

** 性状：本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(99.5)に極めて溶けにくい。本品は乾燥空气中で風解する。

3. 一般名：ヨウ化ナトリウム (Sodium Iodide)

化学名：Sodium iodide

分子式：NaI (分子量：149.89)

性状：本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはない。本品は水に極めて溶けやすく、グリセリン又はエタノール(95)に溶けやすい。本品は湿った空气中で潮解する。

4. 一般名：グリセリン (Glycerin)

化学名：Glycerol

分子式：C₃H₈O₃ (分子量：92.09)

性状：本品は無色澄明の粘性の液で、味は甘い。本品は水又はエタノール(99.5)と混和する。本品は吸湿性である。

【包装】

20 g

【主要文献】

- 1) 米国国立職業安全衛生研究所：4万2千種化学薬品
毒性データ集成，1975.
- ** 2) 第十六改正日本薬局方解説書（2011）.

【文献請求先】

請 求 先：ネオ製薬工業株式会社 学術情報部
住 所：〒150-0012 東京都渋谷区広尾 3-1-3
ホームページ：<http://www.neo-dental.com/>
フリーダイヤル： 0120-07-3768

製造販売元



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613